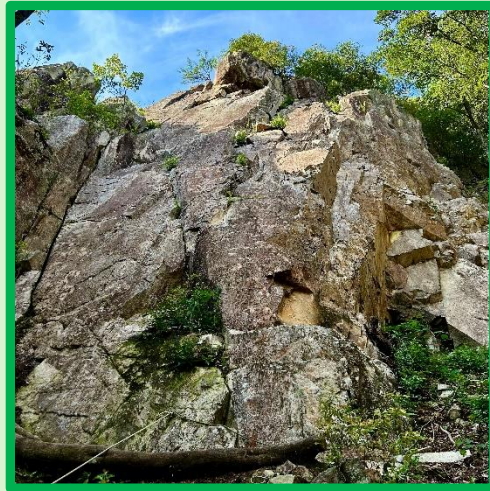


新岩 下のエリア ROUTE GUIDE

三ノ壁



左岸壁



二ノ壁



屏風岩



一ノ壁上段



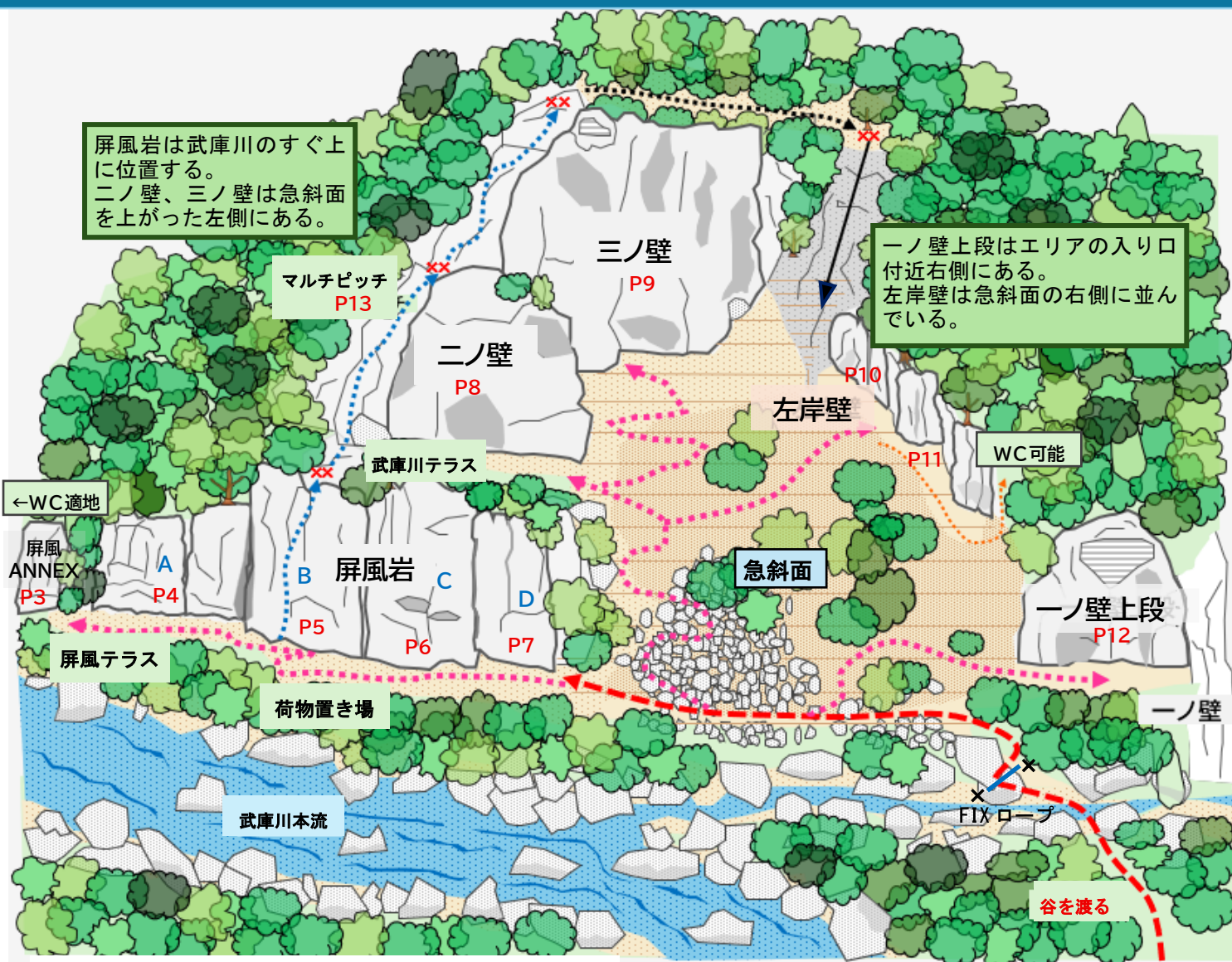
新岩 エリアガイド

【2025 年 10 月版】

岩場へのアプローチ

- ・岩場は宝塚駅の北西部にあたる長尾山霊園の近くにある。
- ・**駐車**：長尾山霊園のロータリーを過ぎた先の「左側のスペース」またはその周辺の「広い路肩」に車を停める。
※できるだけ多くの車が入るようにするため、広いところでは、道路に対して直角に停めること。
※全車両は道路の進行方向左側に停める。(道路の幅員を3.5m以上上げないと全車が駐車違反になるため)
- ・少し霊園のほうに戻ると、右手の自然林の中に細いハイキング道があるのでそれを辿る。200m程度進むとY字型の分岐路があり右側に進む。(左に行くと東高座岩)
- ・道は次第に下降路となり、展望の開けた場所からガレ場に入る。
- ・ガレ場の末端辺りと、道を右側に折れたところにフィックスロープがある。
- ・林間のつづら折り状の道を行くと、**溪谷に近いあたりで分岐になる。右に行くと上のエリア(奥壁・正面壁)で左に行くと下のエリア(屏風岩、二ノ壁・三ノ壁)に至る。**
- ・両エリアは一旦谷に降りて対岸の斜面を上ったところにある。(駐車スペースから距離1.5Km、標高では200m下る)
- ・**コースタイム**：上のエリアでは行きは20分、帰りは30分程度。下のエリアでは5～10分程度プラスされる。





新岩・「下のエリア」紹介

新岩は多数の岩からなる岩壁群であり、シングルピッチ以外にマルチピッチも楽しめる。

屏風岩・一ノ壁上段は武庫川と平行に位置している。二ノ壁、三ノ壁、左岸壁は武庫川に対して直角の方向にある急斜面のルンゼに点在する。

谷に降りてから、やや下流側の対岸の「フィックスロープを張った斜面」を上行すると右手に一ノ壁の上の岩が見えてくる。そのまま上がり続けると屏風岩の右端に達する。二ノ壁、三ノ壁は急斜面につけられたつづら折りの道を上がったところにある。

屏風岩

武庫川と平行に位置し、屏風のように並ぶ岩壁。左右の両端の岩は低い、中央付近では 20m を超えるルートもある。

荷物はエリア中央付近や岩壁の手前に置ける。ただし二ノ壁方向は急斜面であり落石が発生しやすいので、斜面の下での滞留・休憩は避けること。

一ノ壁上

屏風岩と標高が一緒で、急斜面を挟んだ反対側にある。顕著なルーフが目立つ岩壁。

二ノ壁

ガレ場の急斜面を登り、フィックスロープを辿ると、左側に岩場がでてくる。屏風岩の上部に位置する。

三ノ壁

二ノ壁の上部にあるエリア内最大の一枚岩。最上部にはルーフの目立つヘッドウォールがある。

左岸壁

急斜面の左岸方向に点在する岩壁群。ビレイヤーの足場が悪いと、モノを落とすと下まで転がるので注意したい。

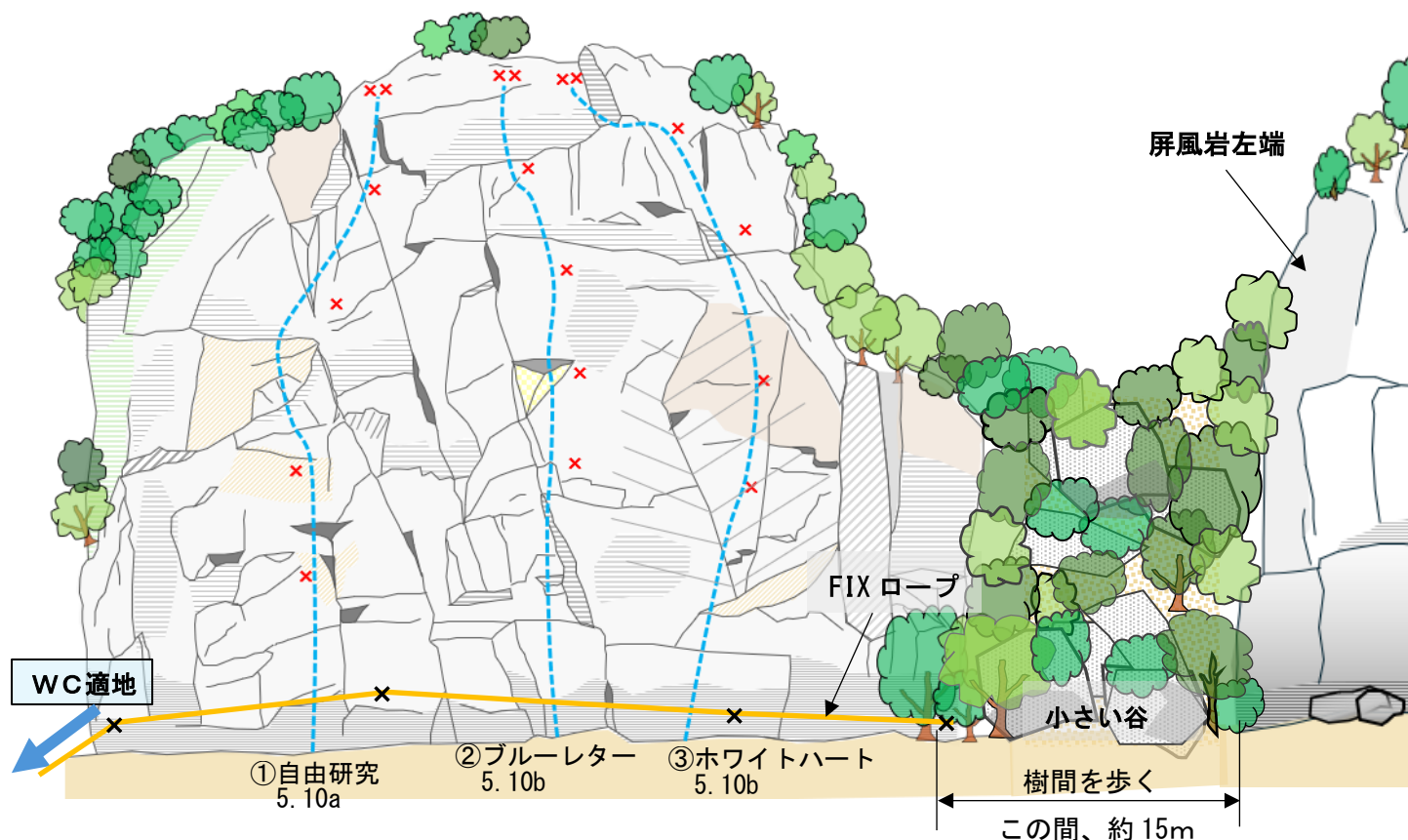
トイレ

墓地のロータリーに公衆トイレがある。エリアには用を足せる場所は少ないが、屏風 ANNEX の左下は適地。左岸壁の下を右に回り込んだところも可能だが快適ではない。

※注意：トポは岩場やルートの安全を保障するものではありません。また支点や岩を常に安全な状態に保つことは困難です。そのため岩場で行動する場合は、個人の判断と自己責任をお願いします。岩は脆い部分もあり落石の危険があるので、下にいる人は十分注意してください。

(ヘルメット着用励行)

屏風 ANNEX (屏風から左側の奥)



屏風 ANNEX

このエリアは「一連につながった岩壁をなす屏風岩」から15mほど離れた場所にある。

屏風岩の左端を回り込むと小さな谷がある。それを越えて、樹間の小径を進むとすっきりした外観の屏風 ANNEX に行きつく。

岩の基部は断続的なバンド状になっていて、岩場の中ほどがルートの取りつきになる。そのバンドに沿って FIX ロープが設置されている。

① 自由研究 5.10a B4本(東秀礒)

【左のルート】

縦・横・アンダーとホールドの向きが多彩なルート。1本目の上はアンダーホールドを上手く使う。1本目から3本目は左右どちらからでも行けるが、右から行く方が1ランクやさしい。

② ブルーレター 5.10b B4本(東秀礒)

【中央のルート】

核心は2本目と3本目の間。一見ホールドが乏しく思われるが、中間部の顕著な水平クラックを中心に、随所に大小の水平ホールドが点在する好ルート。課題はホールドの見出し方にある。終了点は右のルートと近いので、間違えないこと。

③ ホワイトハート 5.10b B4本(東秀礒)

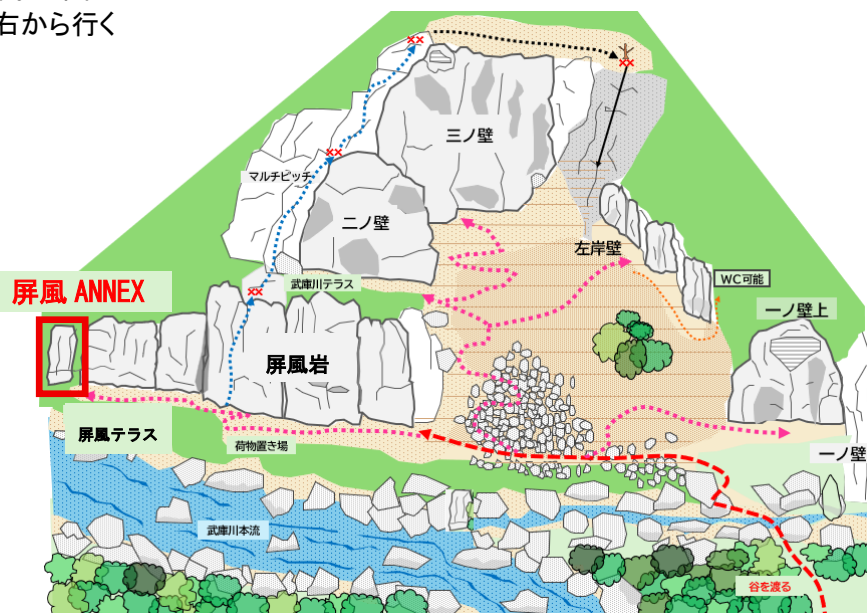
【右のルート】

下部1本目まではスリップに注意して、緩い傾斜を登る。1本目の上は縦ホールドを中心にしたムーヴの展開となり、ステミングを効果的に使う。上部はやさしいが終了点までやや距離があるので、イージーミスに注意すること。

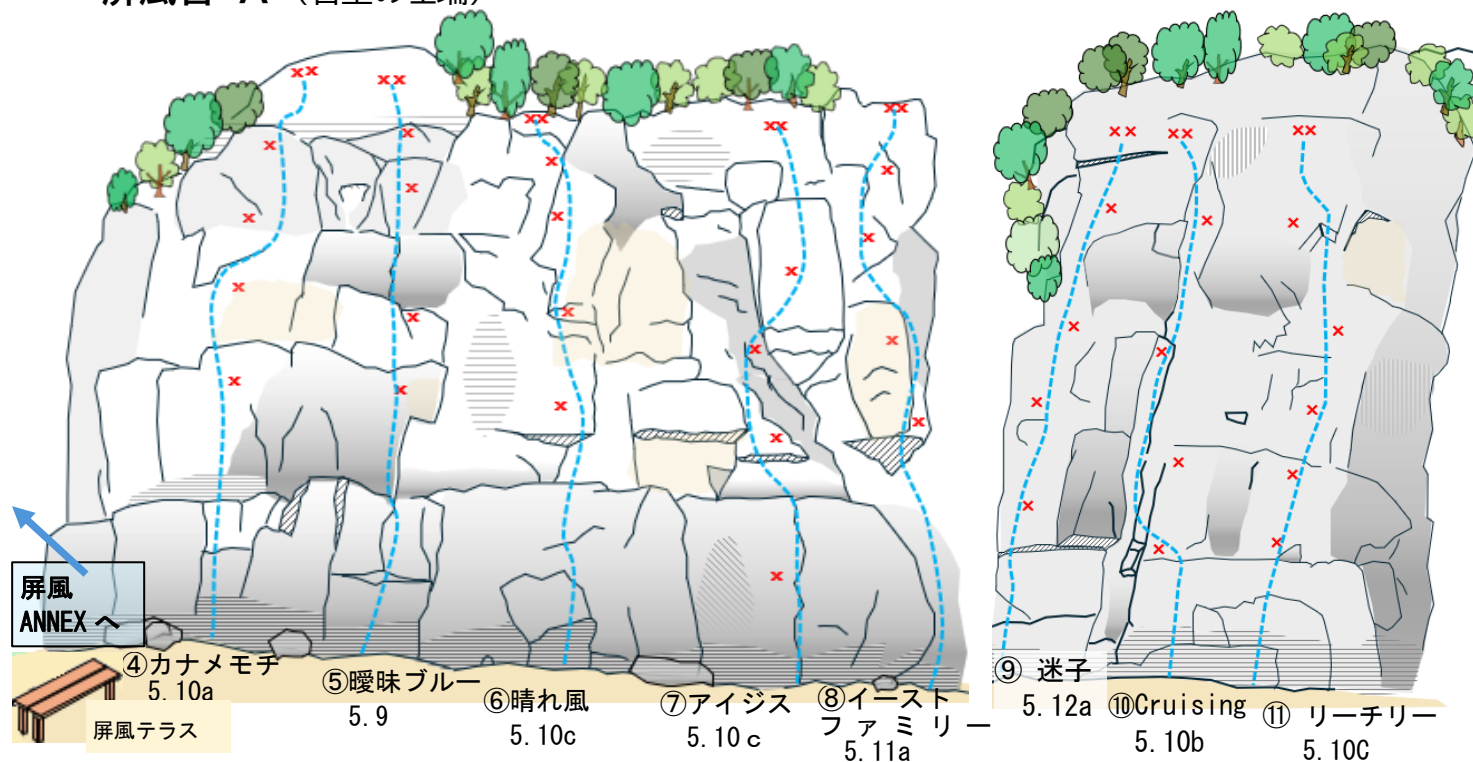
終了点は左寄りにある。(直上では岩の状態が悪すぎてアンカーを打てなかったため)

トイレ

屏風 ANNEX の左端を越えて左下方へ FIX ロープを辿ると岩陰になったルンゼがある。



屏風岩 A (岩壁の左端)



④ カナメモチ 10a B4本 (東秀磯)

【一番左のルート】

出だしはやさし目。徐々に難しくなり、最終クリップあたりが核心になる。最後の乗り越えはマントリング的なムーブになり、終了点は傾斜の落ちた上部の岩にある。

⑤ 曖昧ブルー 5.9 B4本 (東秀磯)

【左から2番目のルート】

下部は簡単。核心部は上部にあり、縦ホールドの処理がカギとなる。終了点は傾斜の落ちた先にある。

⑥ 晴れ風 5.10c B4本 (大藪皓平)

【左から2番目のルート】

短いながらもムーブは多く詰まっている。掛かりのいいホールドを探すのがポイント。

⑦ アイジス 5.10c B4本 (東秀磯)

【上部に顕著な盾状の岩がある】

下部からややトリッキーで、印象的な盾状の壁に入る前が核心で細かいホールドが続く。上部は左右のカンテを挟み込んで登ることになる。

⑧ イーストファミリー 5.11a B4本 (山口一樹)

【グループ(岩溝)の左、出だしはカンテ状ハング】

取り付けは右側が抜けたカンテになるため意外と難しく感じる。後半は素直なライン。

⑨ 迷子 5.12a B4本 (藏敷慎人)

【カンテの右側】

短いがピリッとした内容。難しさが下部に集中しているので、クライマー、ビレイヤー共に注意すること。特に2本目のクリップが悪い。

⑩ Cruising 5.10b B4本 (太田和秀)

【凹部に引かれたライン】

グループ(岩溝)を登るルート。縦型のホールドの展開し、フットホールドも縦になった部分に置くのでその処理が重要。

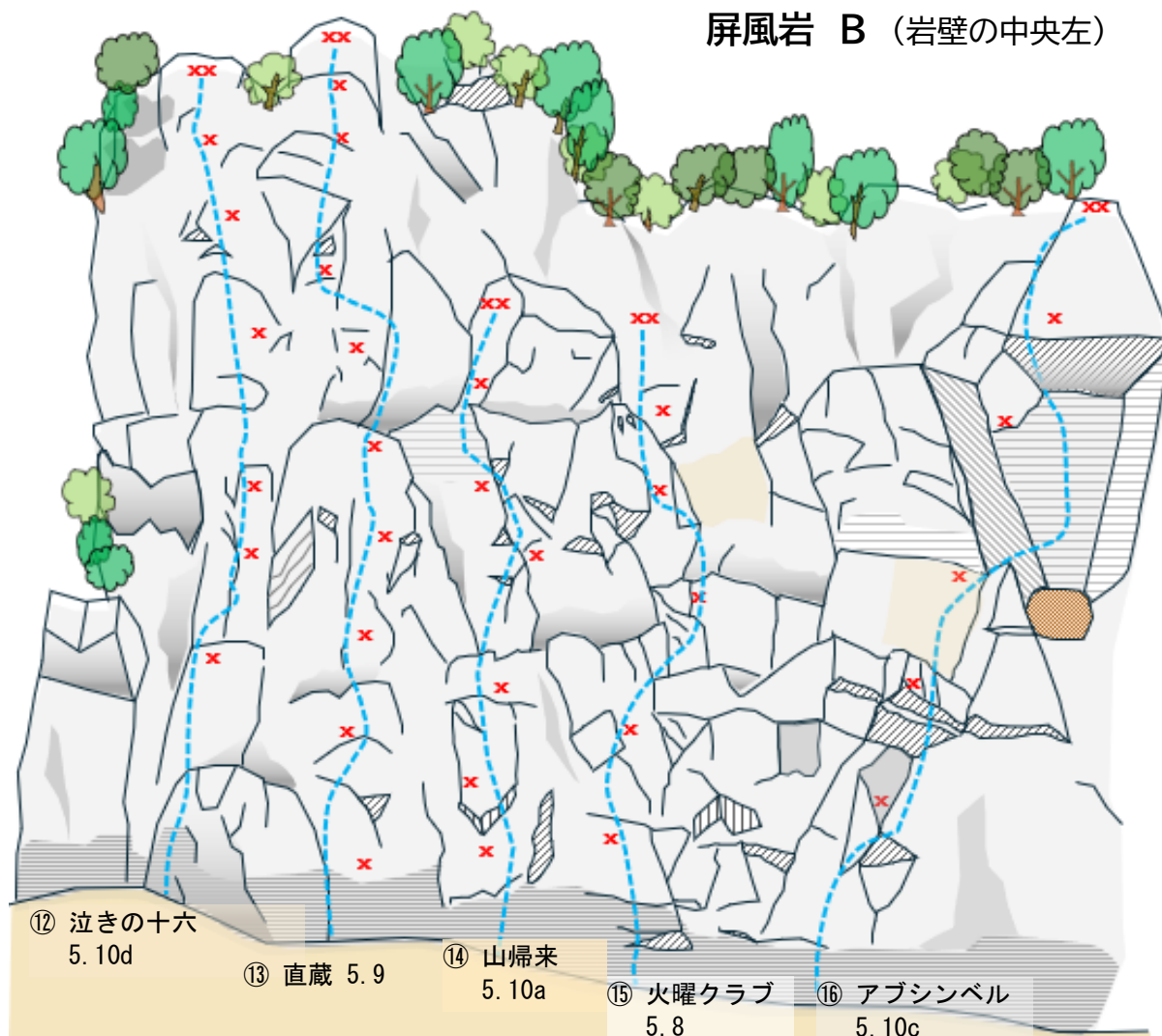
⑪ リーチリー 5.10c B5本 (太田和秀)

【大きな凹型コーナーの左】

いきなり核心。出だしがのっぺりしたフェイスで、リーチが必要となる。1ピンのクリップホールドの見極めは慎重に。



屏風岩 B (岩壁の中央左)



⑫ 泣きの十六 5.10d B 6本 (東秀礒)

【グループ(凹型地形)の右】

形状や向きが異なるホールドが多彩な配置されている興味深いルート。それゆえグレードの割にオンサイトは難しい。4～5本目の間は基本的にはガバホールドであるが、ややランナウト気味なので注意。最終パートは細かいホールドが続く。

⑬ 直蔵 5.9 B 9本 (東秀礒)

※マルチ1ピッチ目

【グループ(凹型地形)の右2本目】

快適なガバが続く好ルート。

6ピッチ目が核心になるが、一旦右の緩傾斜部に出てからボルトライン上に戻ることでグレード通りに登ることができる。

※マルチで登る時はカラビナ付きの終了点ではなく、1段上のハンガー2個のところを使ったほうが、上が見えて2ピッチ目ビレイしやすい。

⑭ 山帰来 5.10a B 6本 (東秀礒)

【左の2ルートに比べて終了点が低い】

出だしがやや悪いので注意。テラスの上、4ピンを掛けてからが核心部になり、テンションするとテラスに当たる可能性があるためビレイヤーは注意したい。その部分は左右どちらからでもいいける。上部は難しいところはない。

⑮ 火曜クラブ 5.8 B 5本 (東秀礒)

【顕著な形状の⑯ルートとの左】

出だしがやや悪いものの、2ピン目以上は至る所に段があり、レストし放題。最後までガバが続く。

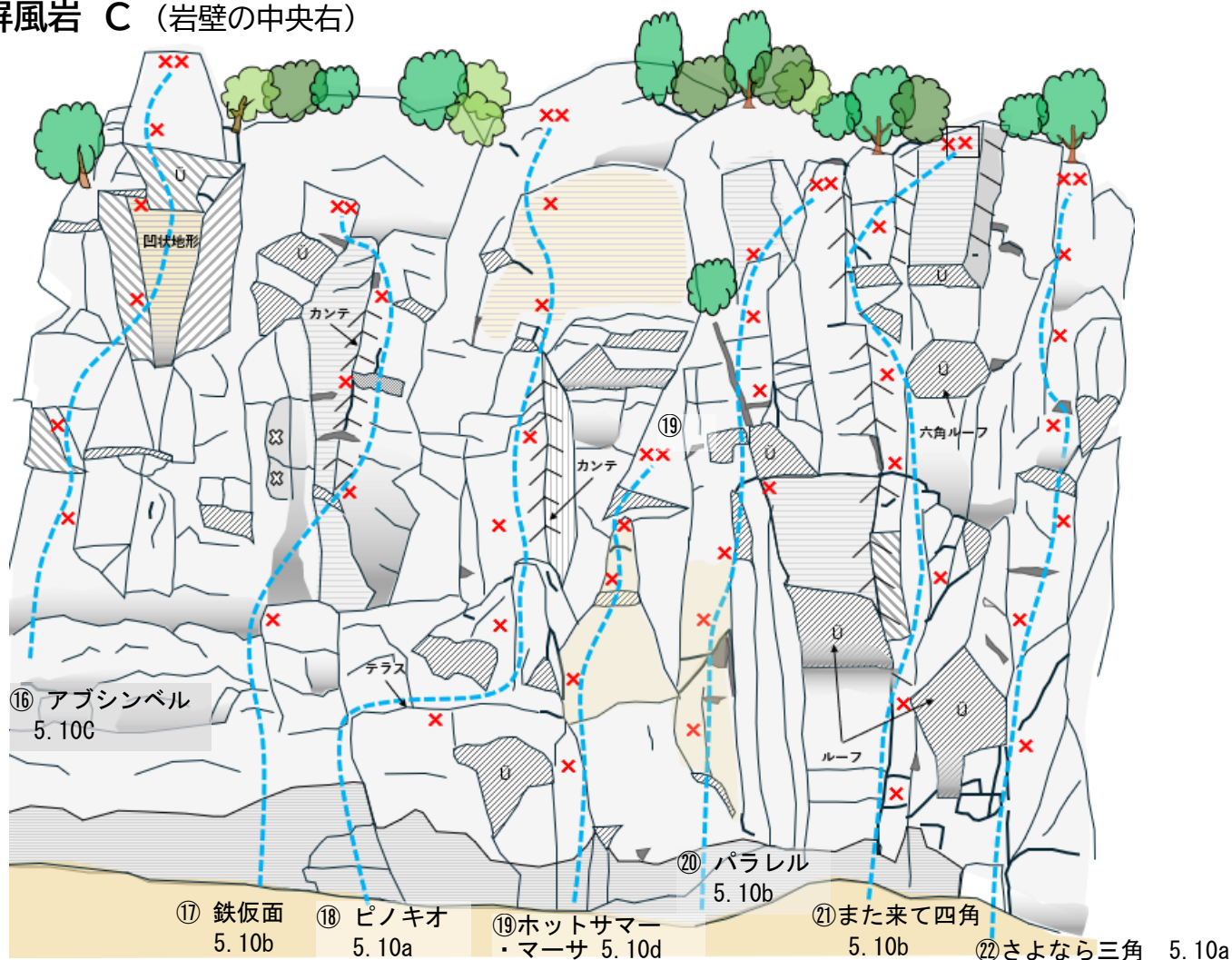
⑯ アブシンベル 5.10c B 5本 (東秀礒)

【上部は特徴的な逆三角形の地形】

出だしのハングは思ったよりガバが多い。中間部の凹角は左右に逃げずにステミングを使ってまっすぐに登る設定。最後のルーフは左から抜ける。



屏風岩 C (岩壁の中央右)



⑦ 鉄仮面 5.10b B 4本 (東秀礫)

【白い×印がある】

実質的なルートは1ピン目上のテラスから始まり、薄かぶり気味のカンテラインから取り付く。左側の「×印」の付いた岩は状態が良くないので、手では触らないこと。短いながらもフィンガリーなホールドの続く好ルート。

⑧ ピノキオ 5.10a B 6本 (東秀礫)

【4ピン目の上に壁から突き出た岩】があり、ルート名の由来となっている。

下部の直登は困難なので、左側から回る(クリップに注意)。テラスから右に戻って、小ハングを越える。中間部にある凸型ホールドの上はテラスとなり、最上部はホールドがないように思われるが、左から行けば困難ではない。

⑨ ホットサマー・マーサ 5.10d B 4本 (東秀礫)

【下部に逆三角形の穴がある短いルート】

1本目を取ったあといきなり核心となるので、ビレイヤーは気をつけること。また1本目のクリップは悪いので注意したい。上部はイージーとなり、4本目のクリップは無しでもいい。

⑩ パラレル 5.10b B 7本 (東秀礫)

【特徴的な赤い四角ハングの左を登る】

1ピン目あたりが核心部となるので、ビレイヤーは注意すること。立体感のある岩にはクラックやフレークが点在しており、エリアーのインタレスティングなルート。ナチプロだけでも登れる。

⑪ また来て四角 5.10b B 6本 (東秀礫)

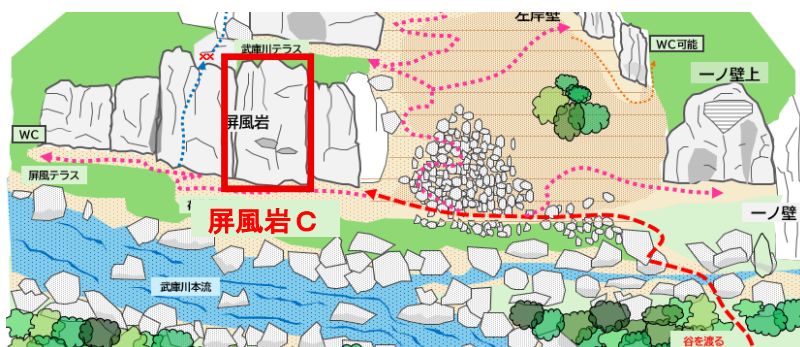
【赤い四角ルーフと黒い菱形ハングの間】

出だしはやや入り難いが、中間部にはガバとテラスがあるので、回復が図れる。上部は縦フレークを使ったダイナミックなクライミングとなる。立体的な面白いルート。

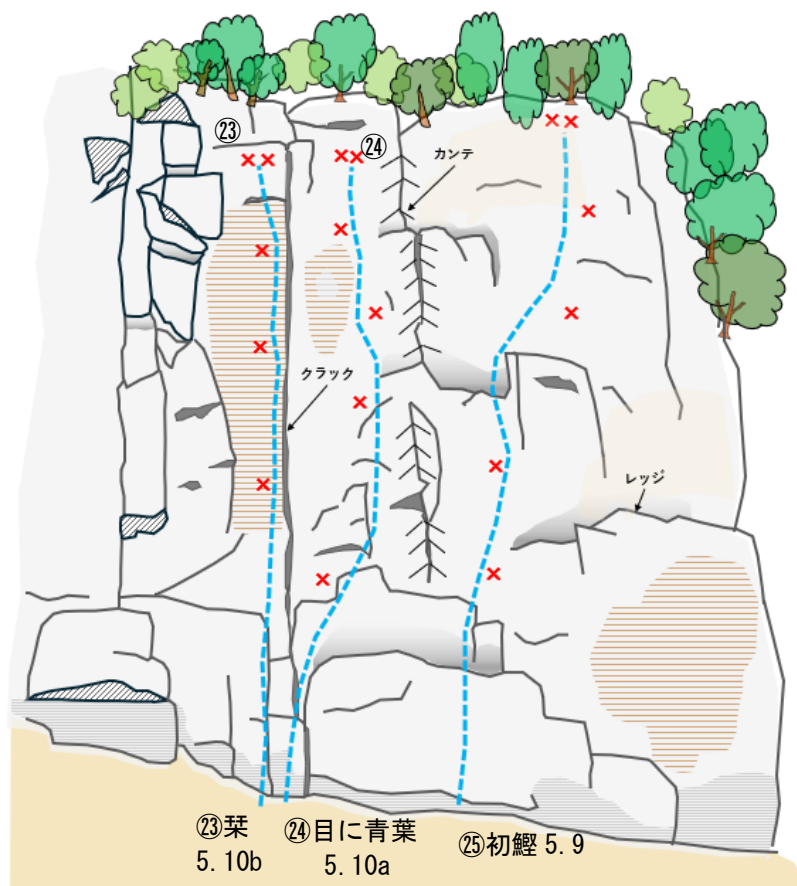
⑫ さよなら三角 5.10a B 6本 (東秀礫)

【黒い菱形ハングの右】

出だしのホールドの乏しさはステミングでカバーする。上部のフェイスもホールドが少ないが、落ち着いて探せば効果的なホールドはある。



屏風岩 D（岩壁の右端）



②③ 葉（しおり） 5.10b B 3本（東秀磯）

【顕著なクラックライン】

付近の岩では目立つライン。左上気味のクラックをレイバックとスメアリングで登る。クラック以外にもホールドがあり、その活用がカギともなる。

②⑤ 初鰹 5.9 B 4本（東見和子）

【1番右のルート】

地形的に段が3カ所存在する。そのためレストポイントが豊富で攻略しやすい。

②④ 目に青葉 5.10a B 4本（東見和子）

【右から2本目のルート】

一見すると傾斜が緩くて登りやすそうに見えるが、効果的なホールドが少ないので、苦戦するパートもある。



二ノ壁 (斜面を上った左側)



②⑥ セットアップパー 5.9 B 7本 (東秀磯)
(マルチ2ピッチ目)

②⑦ Chill Green 5.10a B 5本 (東見和子)

【一番左のルート】

下部は傾斜もなく、ホールドも大きい。4本目からは細くなるが、核心部は短い。

②⑧ プランB 5.9 B 5本 (東秀磯)

【②⑦からの派生ルート】

2本目から右に行き、一旦リッジに出る。そのままカンテの右側を登る。最上部のホールドがやや細かいが、足はガバナので問題ない。

②⑨ 浮雲 5.10a B 3本 (東秀磯)

【二ノ壁の2ピッチ目】

随所に細かいホールドが点在するので、うまくつないで登る。小ルーフ下でホールドが細くなるが、落ち着いてフットホールドを拾っていく。

③⑩ スクールベル 5.10b ③⑪ 余談 5.10a

③⑩ スクールベル 5.10b B 3本 (東秀磯)

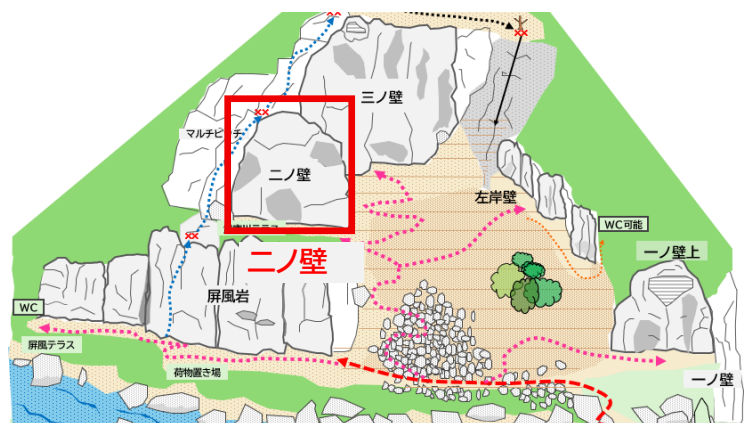
【右から2番目のルート】

中間部のリッジを挟んで、下部と上部にそれぞれフィンガリーな部分がある。クリップポイントに注意して、力のロスを防ぎたい。

③⑪ 余談 5.10a B 6本 (東秀磯)

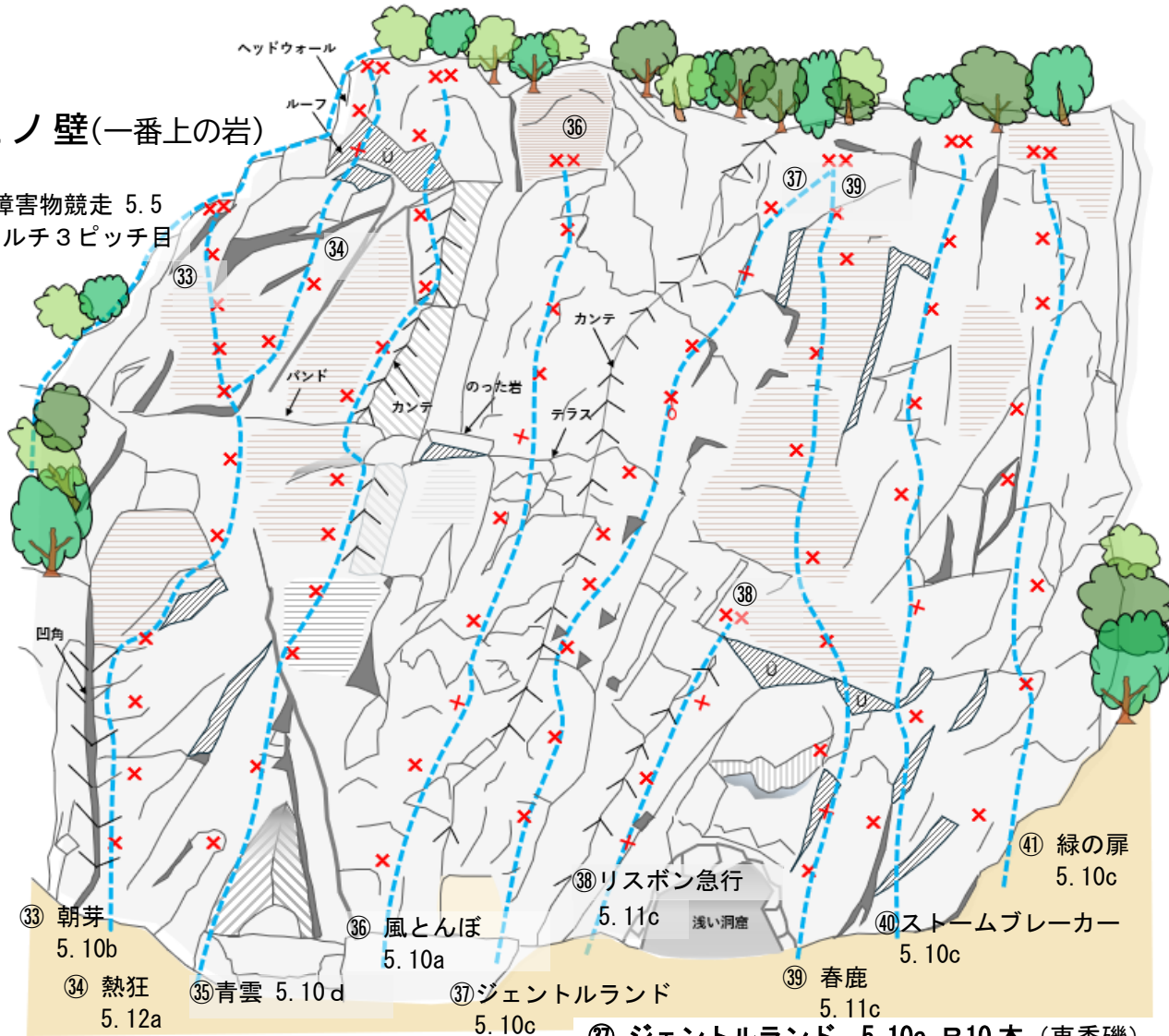
【1番右のルート】

下部から中間部にかけては随所に小段があるので登りやすい。最終パートのホールドは細くなりルートの核心となる。



三ノ壁(一番上の岩)

③② 障害物競走 5.5
マルチ3ピッチ目



③② 障害物競走 5.5 マルチ3ピッチ目

③③ 朝芽 (あさめ) 5.10b B10本 (東秀磯)

【三ノ壁の一番左のルート】

出だしは凹角状の部分に登る。6ピン目の上にバンドがあり、そこからは岩場の左肩を目指して登る。比較的長いルートで上部のフェイスは快適。

③④ 熱狂 5.12a B11本 (東秀磯)

【途中のバンドから③③と分かれて右に行く】

核心部は分岐のすぐ上にあり、超エッジングなムーヴとなる。最上部はルーフを超えてヘッドウォールに登ることになるが、見かけよりも困難度は低い。ルーフ下のフレーク状の岩には不用意に力をかけないこと。

③⑤ 青雲 5.10d B11本 (東秀磯)

【ヘッドウォールに右から突き上げる長いルート】

途中のカンテの右側に寄る部分に強烈な核心部があるが、傾斜が緩く何回でもやり直せるので落ち着いて処理したい。

③⑥ 風とんぼ 5.10a B9本 (東見和子)

【テラスに乗った岩の右側に登る】

ホールドが豊富なスラブ面に登る長くて快適なルート。中間部では迷いやすいが右寄りにホールドが展開している。

③⑦ ジェントルランド 5.10c B10本 (東秀磯)

【印象的な逆三角形のホールドが点在するルート】

局所的な核心がなく、一様な困難度が長く続く好ルート。ローダウン時には右に流されないように途中の残置カラビナにクリップすること。

③⑧ リスボン急行 5.11c B3本 (東秀磯)

【洞窟の左】

前傾壁にフィンガリーなホールドが点在するボルダータックなルート。中間部にガバがあり、そこで上部パートと下部パートに分かれる。

③⑨ 春鹿 5.11c B9本 (大藪皓平)

【洞窟の右】

出だしのスラブの処理が難しい。中間レッジより上は楽しいフェースクライミングで、特に上部の墓石を挟み込むようなムーヴは独特で面白い。

④① ストームブレイカー 5.10c B7本 (東秀磯)

【三ノ壁の右端から2番目のルート】

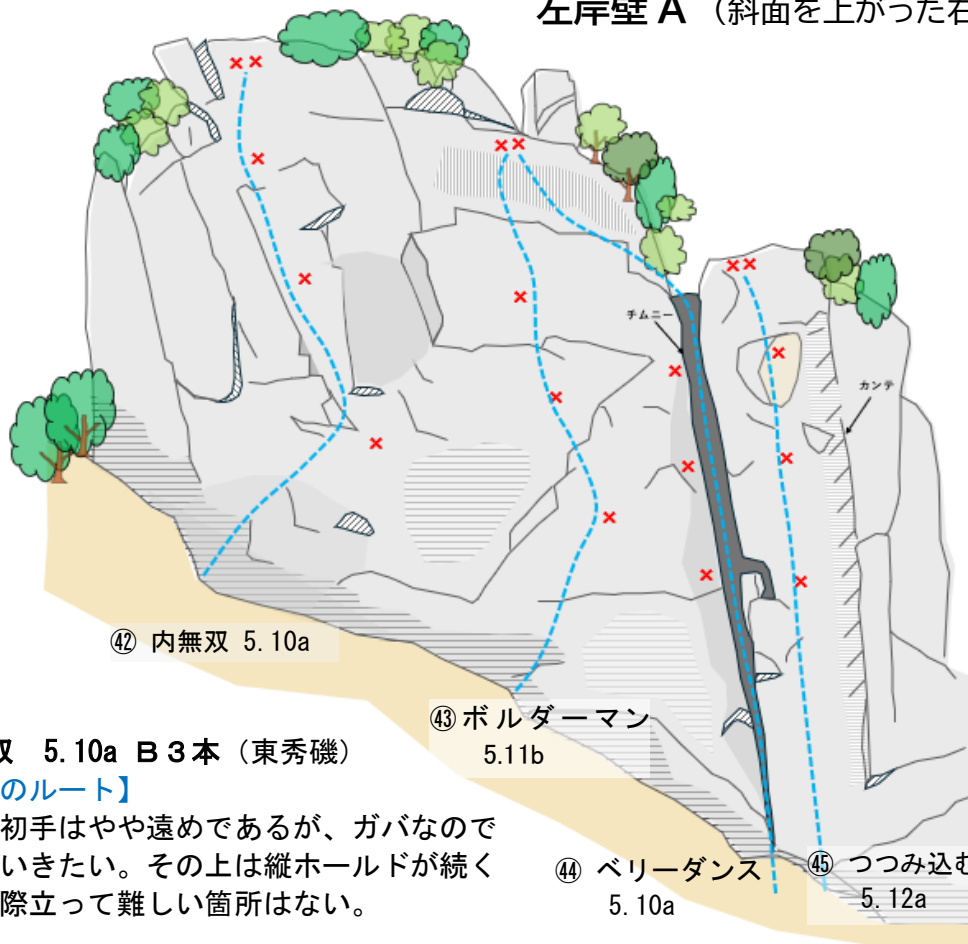
中間部に大きなリッジがあり、そこまでは難しくもないし、そのリッジで回復できる。上部はホールド間隔が遠くパワフルなムーヴとなる。

④② 緑の扉 5.10c B7本 (東秀磯)

【三ノ壁の1番右のルート】

下部はリッジやガバホールドが続く。4ピン目からは凹角を使って登ることになるが、効果的なホールドは縦向きが多い。上部の勝負どころは少しかぶり気味になる。

左岸壁 A (斜面を上った右側最上部)



④② 内無双 5.10a B 3本 (東秀磯)

【一番左のルート】

右に出す初手はやや遠めであるが、ガバなので思い切りいきたい。その上は縦ホールドが続くものの、際立って難しい箇所はない。

④③ ボルダーマン 5.11b B3本(大藪皓平)

【ワイドクラックの左】

息付く暇がないボルダリーなルート。2ピン目までの右足の処理が重要になる。

④④ ベリーダンス 5.10a B 3本 (大藪まい)

【ワイドクラック】

エリアでは珍しいクラックルート。身体の数によって登り方は異なるが、クラックの傾斜上、右手指しスタイルでボルトが打たれている。

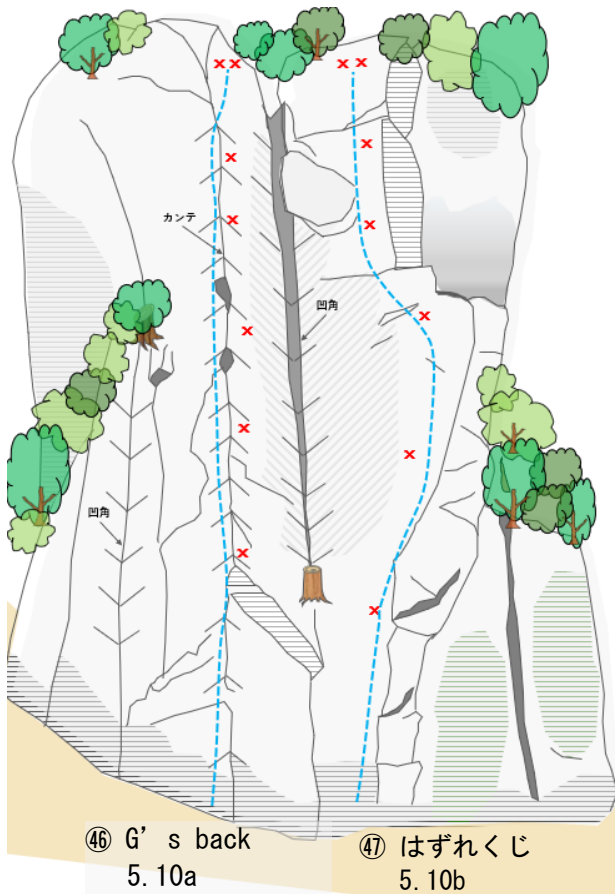
④⑤ つつみ込むように 5.12a B 3本 (大藪皓平)

【一番右のライン、クラックとカンテの間】

ダブルカンテを抱きながら登るボルダーっぽいルートで、ワイドクラックを挟んで登る。左側の岩は限定。自分なりのムーヴを見出さないと難しく感じる。



左岸壁 B (左岸壁の中央)



④⑥ G' s back 5.10a B 5本 (東秀礒)

【左の顕著な凸角ライン】

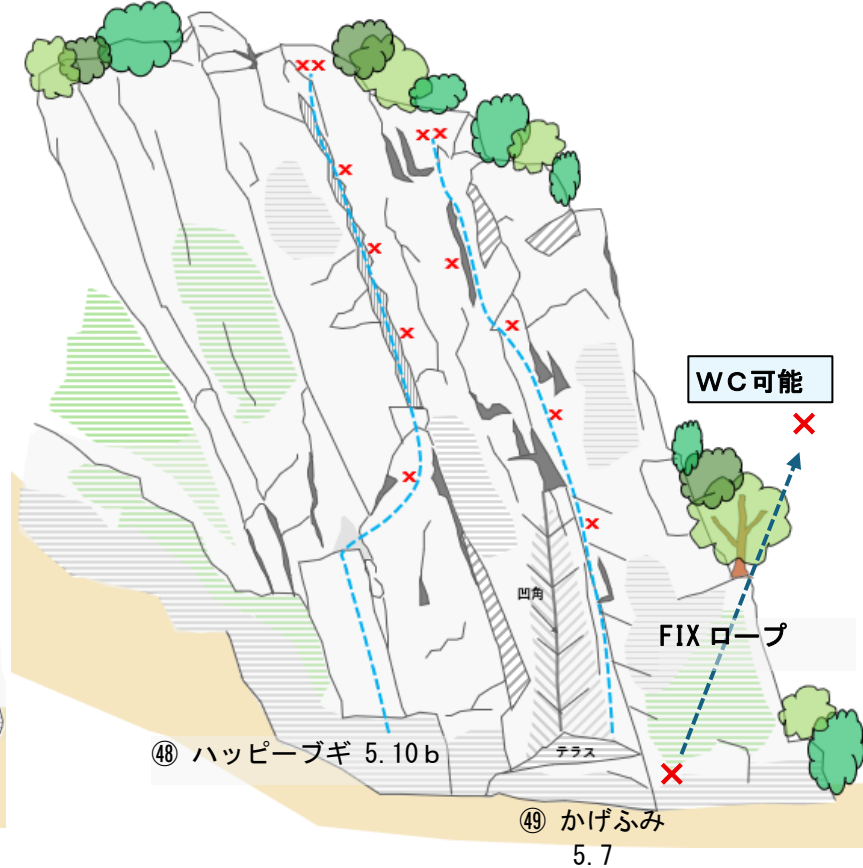
顕著なカンテラインをまっすぐ上がる。ホールドがやや乏しいのでバランスを取るのがカギとなる。上部は傾斜が落ちる。

④⑦ はずれくじ 5.10b B 5本 (東秀礒)

【右肩にテラスがある右側のルート】

右の岩を使わない限定としてラインを設定している。1本目を掛けてから、低い位置に核心があるので注意したい。上部は右に出ず、カンテの左側を登る。

左岸壁 C (左岸壁で一番下(右))



④⑧ ハッピーブギ 5.10b B 4本 (東秀礒)

【左側のクラック状のルート】

右上クラック沿いに登るルート。レイバックのようなムーヴが続くため、足を上げて安定させるのがカギ。

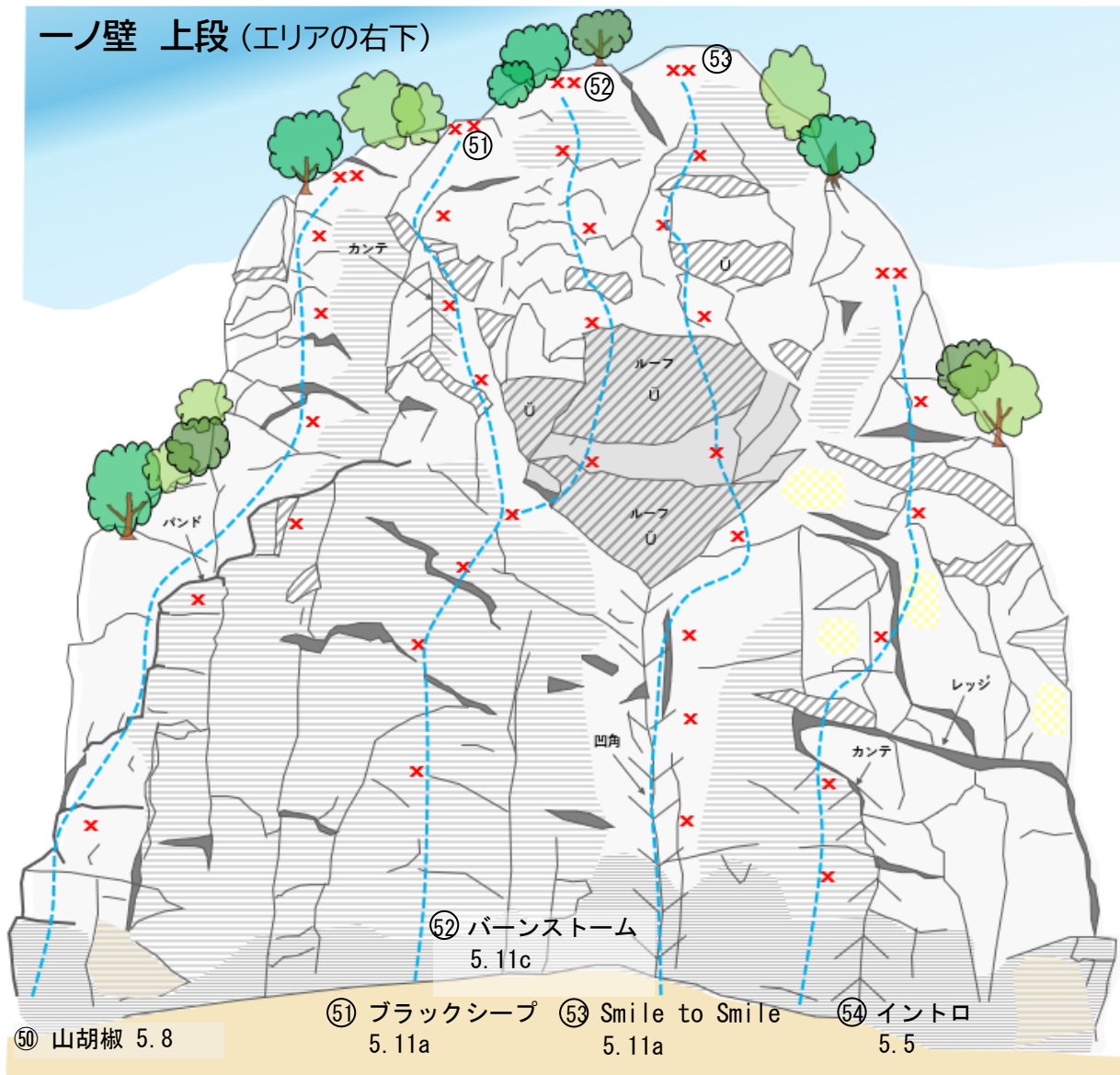
④⑨ かげふみ 5.7 B 4本 (東秀礒)

【右のルート】

初手だけがやや力があるが、あとは棚状の持ちやすいホールドが続く。



一ノ壁 上段 (エリアの右下)



⑤① 山胡椒 5.8 B 6本 (東見和子)

【一番左のルート】

下部はカンテの右側にボルトがあるが、ラインは左側の階段状の岩を登る。ボルト4本目あたりから傾斜が強くなるもののホールドは豊富にある。最終ピン(6本目)の前後からホールドが悪くなり、垂直部を抜けるところもあまいホールドが多い。

⑤② ブラックシープ 5.11a B 7本 (東秀磯)

【左から2番目のルートで、上部はカンテライン】

下部のフェイスはボルトの左右のラインを登れるが、効率のいいホールドを選ぶのがカギ。上部はカンテから入り、右壁のホールドとカンテを交互に利用する。

⑤③ バーンストーム 5.11c B 8本 (東秀磯)

【⑤①からの派生ルートで、上部はルーフ左をいく】

1. 下部は⑤①と共有。その上はカンテに出ずにルーフ状の部分に登る。ルーフからの数mが核心で3級程度のボルダームーヴがある。

⑤④ Smile to Smile 5.11a B 8本 (石原真)

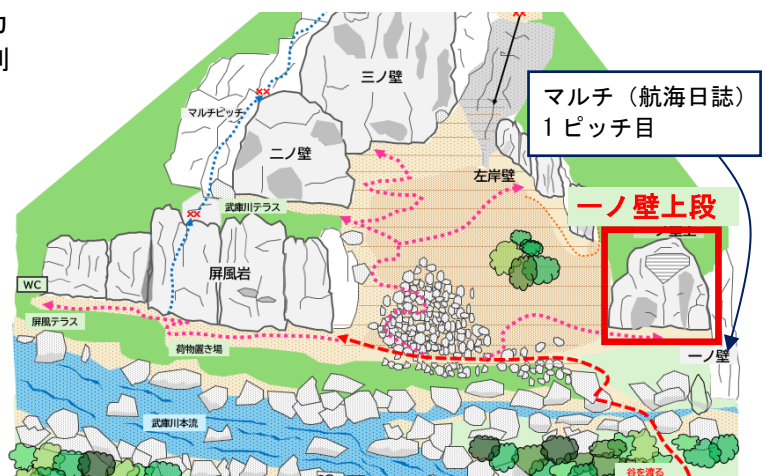
【出だしは凹角の中央から、上部はルーフの右】

下部は凹角状の数フェイスの左右を使ってステミングムーヴで登る。ハング帯にもしっかりとホールドがあるが、やや離れているところもあるので、効果的なホールドを見つけることが大切。

⑤⑤ イントロ 5.5 B 5本 (東秀磯)

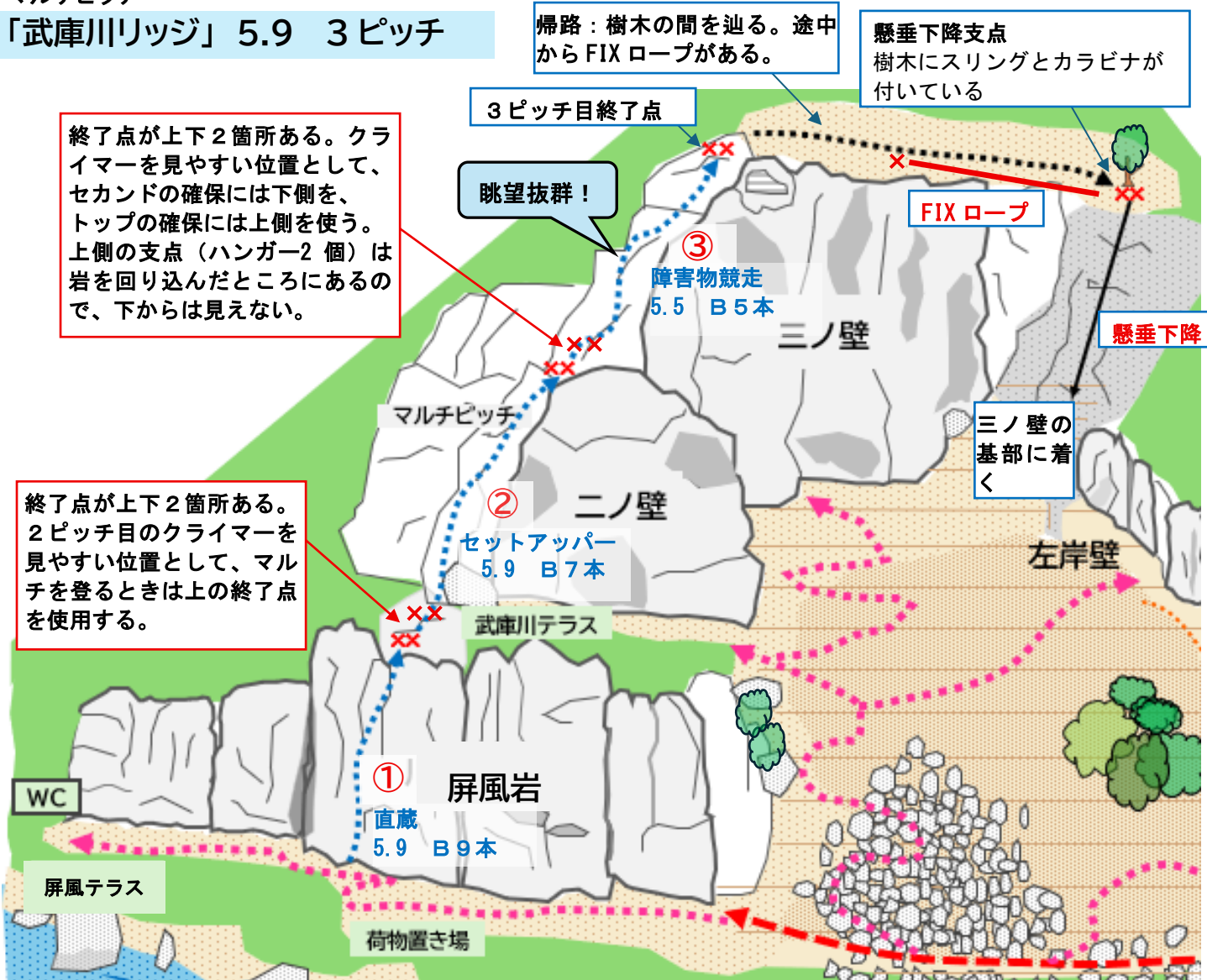
【一番右のルート】

出だしと一部にやや難しいところがあるものの、全体的に階段状の易しいルート。



マルチピッチ

「武庫川リッジ」 5.9 3ピッチ



武庫川リッジ 5.9 3ピッチ スタートは屏風岩基部、終了点は三ノ壁上方

1ピッチ目(屏風岩B)

⑩ 直蔵 5.9 B9本

【グループ(凹型地形)の右2本目】

快適なガバが続く好ルート。

6ピン目が核心になるが、一旦右の緩傾斜部に出てからボルトライン上に戻ることでグレード通りに登ることができる。

マルチで登る時はカラビナ付きの終了点ではなく、1段上のハンガー2個のところを使ったほうが、2ピッチ目を見やすくビレイしやすい。

2ピッチ目(二ノ壁左方)

㊸ セットアップパー 5.9 B7本

出だしは木を使う。中間にやや難しいところがあるものの、あとはホールドが豊富なフェイスとなる。

最上部の転石は不用意に持たないこと。

※3ピッチ目のビレイ点は2ピッチ目の終了点を少し上がったところにある。そこの方が上部を見えてビレイしやすい。

3ピッチ目(三ノ壁左方)

㊹ 障害物競走 5.5 B5本

眺望抜群のルート。

尾根沿いの登攀路の所々にボルダーが出て来る構成で徒歩と登攀のミックスになる。

登攀部はやさしいがビレイヤーが多めにロープを出しているとグラウンドフォールになるため、注意して登ること。

三ノ壁左方上部のボルダー状の岩に終了点が設置されている。

ルート上の所々に浮石があるが、下方にはクライマーがいるので絶対に落とさないように慎重を期すること。

下降路

3ピッチ目終了点から登攀方向に対して右側に伸びる山路を辿っていくとフィックスロープがあり、ロープの末端に懸垂下降支点がある。そこから懸垂すると三ノ壁の基部に行き着く。

屏風ANNEX=====

- ①自由研究 5. 10a B 4 本 (東秀磯) 3 頁
 ②ブルーレター 5. 10b B 4 本 (東秀磯)
 ③ホワイトハート 5. 10b B 4 本 (東秀磯)

屏風岩=====

- ④カナメモチ 5. 10a B4本 (東秀磯) 4 頁
 ⑤曖昧ブルー 5. 9 B4本 (東秀磯)
 ⑥晴れ風 5. 10c B4本 (大藪皓平)
 ⑦アイジス 5. 10c B4本 (東秀磯)
 ⑧イーストファミリー 5. 11a B4本 (山口一樹)
 ⑨迷子 5. 12a B4本 (藏敷慎人)
 ⑩Cruising 5. 10b B 4 本 (太田和秀)
 ⑪リーチリー 5. 10c B 5 本 (太田和秀)
 ⑫泣きの十六 5. 10d B 6 本 (東秀磯) 5 頁
 ⑬直蔵 5. 9 B 9 本 (東秀磯)
 ⑭山帰来 5. 10a B 6 本 (東秀磯)
 ⑮火曜クラブ 5. 8 B 5 本 (東秀磯)
 ⑯アブシンベル 5. 10c B 5 本 (東秀磯)
 ⑰鉄仮面 5. 10b B 4 本 (東秀磯) 6 頁
 ⑱ピノキオ 5. 10a B 6 本 (東秀磯)
 ⑲ホットサマー・マーサ 5. 10d B 7 本 (東秀磯)
 ⑳パラレル 5. 10b B 7 本 (東秀磯)
 ㉑また来て四角 5. 10b B 6 本 (東秀磯)
 ㉒さよなら三角 5. 10a B 6 本 (東秀磯)
 ㉓栞 (しおり) 5. 10b B 3 本 (東秀磯) 7 頁
 ㉔目に青葉 5. 10a B 4 本 (東見和子)
 ㉕初鯉 5. 9 B 4 本 (東見和子)

二ノ壁=====

- ㉖セットアッパー 5. 9 B 7 本 (東秀磯) 8 頁
 ㉗Chill Green 5. 10a B 5 本 (東見和子)
 ㉘プランB 5. 9 B 5 本 (東秀磯)
 ㉙浮雲 5. 10a B 3 本 (東秀磯)
 ㉚スクールベル 5. 10b B 3 本 (東秀磯)
 ㉛余談 5. 10a B 6 本 (東秀磯)

三ノ壁=====

- ㉜障害物競走 5. 5 マルチ3ピッチ目 9 頁
 ㉝朝芽 (あさめ) 5. 10b B10 本 (東秀磯)
 ㉞熱狂 5. 12a B11 本 (東秀磯)
 ㉟青雲 5. 10d B11 本 (東秀磯)
 ㊱風とんぼ 5. 10a B 9 本 (東見和子)
 ㊲ジェントルランド 5. 10c B10 本 (東秀磯)
 ㊳リスボン急行 5. 11c B 3 本 (東秀磯)
 ㊴春鹿 5. 11c B 9 本 (大藪皓平)
 ㊵ストームブレイカー 5. 10c B 7 本 (東秀磯)
 ㊶緑の扉 5. 10c B 7 本 (東秀磯)

左岸壁=====

- ㊷内無双 5. 10a B 3 本 (東秀磯) 10 頁
 ㊸ボルダーマン 5. 11b B 3 (大藪皓平)
 ㊹ベリーダンス 5. 10a B 3 本 (大藪まい)
 ㊺つつみ込むように 5. 12a B 3 本 (大藪皓平)
 ㊻G' s back 5. 10a B 5 本 (東秀磯) 11 頁
 ㊼はずれくじ 5. 10b B 5 本 (東秀磯)
 ㊽ハッピーブギ 5. 10b B 4 本 (東秀磯)
 ㊾かげふみ 5. 7 B 4 本 (東秀磯)

一ノ壁上部=====

- ㊿山胡椒 5. 8 B 6 本 (東見和子) 12 頁
 ㊽ブラックシープ 5. 11a B 7 本 (東秀磯)
 ㊾バーンストーム 5. 11c B 8 本 (東秀磯)
 ㊿Smile to Smile 5. 11a B 8 本 (石原真)
 ㊽イントロ 5. 5 B 5 本 (東秀磯)

記号

水色破線 : ルートのアクシス

× : 中間支点

×× : 終了点

ü : ルーフ状ハング

※カンテと凹角の斜線は立体イメージから逆になっている

